

2023年8月29日

兵庫県神戸市と「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス」 ワーキンググループ活動における乳酸菌飲料容器回収・再資源化 プロジェクトに関する連携協定を締結

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、兵庫県神戸市と「クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス※」（英文名：Japan Clean Ocean Material Alliance、以下「CLOMA」）のワーキンググループ活動におけるポリスチレン素材の乳酸菌飲料容器の回収・再資源化プロジェクトを進めるため、2023年9月1日に連携協定を締結します。

これは、CLOMA会員企業である8社（日清食品ホールディングス株式会社、株式会社 digglue、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社、D I C株式会社、P S ジャパン株式会社、大塚包装工業株式会社、アマタホールディングス株式会社、株式会社ヤクルト本社）およびCLOMAのオブザーバー自治体である神戸市との業界横断での取り組みです。

神戸市は、プラスチックリサイクル推進のためのプロジェクト「KOBE PLASTIC NEXT」や、リサイクルの見える化と質の高いリサイクルをめざす資源回収ステーションの展開など持続可能な地域づくりを推進しています。

今回、当社は神戸市と連携することで、資源回収ステーションで回収されたポリスチレン素材の乳酸菌飲料容器を「マテリアルリサイクル加工・製品化」の技術実証で活用し、使用済みポリスチレンの回収方法の確立や再資源化を推進します。当社が関わる、自治体との連携によるポリスチレン素材の乳酸菌飲料容器のみを対象とした回収を実施するのは、神戸市が初めてとなります。

【連携内容】

- （1）神戸市民が排出するポリスチレン容器の回収・運搬・輸送・再資源化（マテリアルリサイクル加工）スキーム構築の実現に関する事
- （2）市民参加のイベントなど地域の活性化や市民サービスの向上に関する事
- （3）その他持続的な街づくりの推進に関する事

※ クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA：Japan Clean Ocean Material Alliance）

プラスチック資源循環の未来像を通して海洋プラスチックごみ問題の解決を目指す企業アライアンス。国や自治体、生活者などと連携した社会イノベーションを活動の基本としている。

（2023年7月28日現在：会員 498社・団体、オブザーバー 22団体・自治体が参加）

以 上